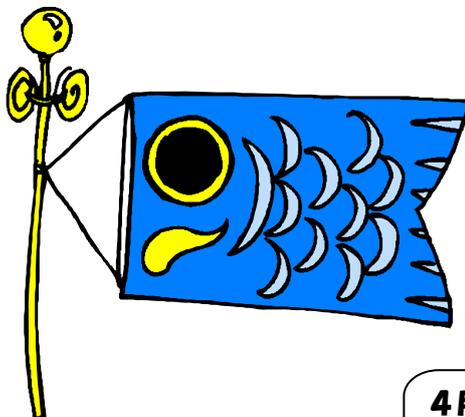


こんにちは！爽やかな季節となりました

新年度から新しい環境に入られたお子さん、  
お孫さん方はお元気でお過ごしでしょうか？  
ゴールデンウィークはごゆっくりされるといいですね

家庭訪問でお忙しい先生方、お疲れがでませんように  
お父さんお母さん方もお掃除、お疲れ様です  
え？いつもきれいにしてるから、特別なことはしてない？  
それは失礼致しました(((^^;))



4月22日に  
行いました。  
報告です！



#### 第4回定例学習会

### 「子どもの権利を読み比べてみよう」

## 誰の人権も「特殊事情」なんかで踏みにじられちゃダメ！

1989年に国際連合で採択された「子ども(児童)の権利条約」は、子どもも人権を持つことを確認し、子どもの様々な権利を定めています。

東京書籍の教科書は子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」をイラスト入りで掲載し、それぞれの権利により具体的に子どもたちの生活に、どんな保障が与えられているかを明記しています。例えば「参加する権利」により保障されているのは、「自由に意見を表明したり、集まってグループをつくって自由な活動をしたりできること」。大人の人権と同じです。

ここまで教えてあげないと、子どもたちには「子どもの権利」とはどういうものかイメージできないのではないのでしょうか？

育鵬社の教科書はそのあたりが不十分。アフリカ・シェラレオネの少年兵の写真について、イラストの少年が「このような子どもたちの人権を守るために…制定されたんだね。」

おばちゃんはこのイラストの少年に言ってやり

たい。「違うよ。少年兵や労働少年はもちろん、君も含めたすべての子どもたちの人権を守るために、子どもの権利条約はあるんだよ。」

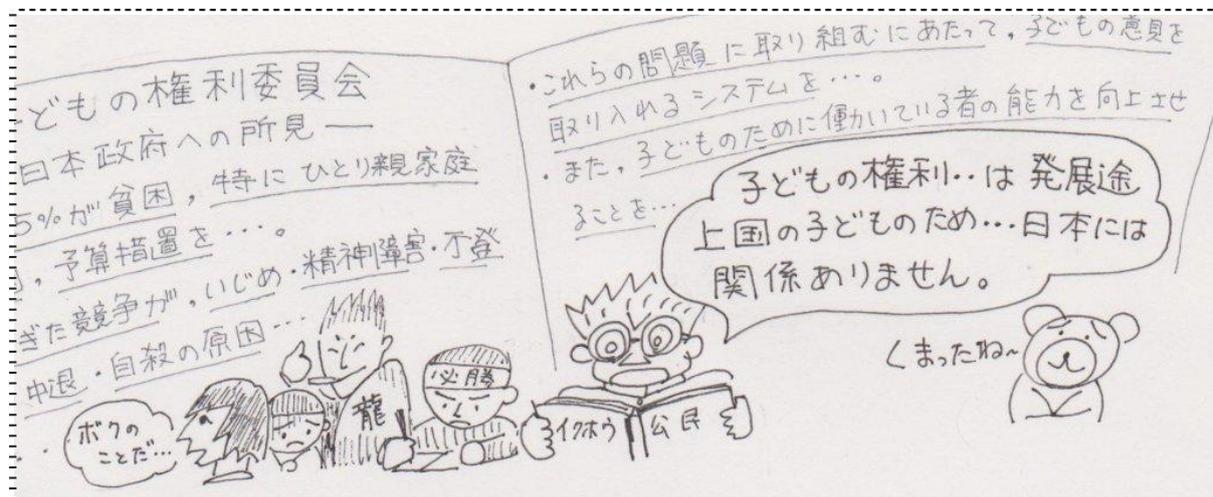
そもそも人権の頁に「宗教や歴史・文化を背景にした各国なりの特殊事情」という文言を持ち出してくるあたり、理解に苦しみます。人権は条件を付けずに認めるべきものです。競合するとすれば、他の誰かの人権以外にはありません。

参加者からは「育鵬社の教科書は、定義付けと事実と主張が混在している」という鋭い指摘がありました。

学習会当日は、子どもの権利委員会が政府の報告に対してまとめた最終所見の資料も読みました。

「これらの問題は、老人介護と子どもの養育の狭間で葛藤、ならびに、学校における競争、仕事と家庭生活の非両立性、および、特にひとり親家庭を直撃している貧困などの要因に起因する可能性のあることに留意する。」胸に刺さる意見です。

子どもの問題は、大人の問題なんですね。



# 運営委員からひとこと

サギ指名手配「特殊性三兄弟」  
 「歴史（昔からやっとる）」  
 「文化（みんなやっとる）」  
 「宗教（これだけは畏れ敬わんと）」  
 普遍性という視座をお忘れなく。  
 釋智寧（西教寺）

ち  
よ  
っ  
と  
お  
で  
か  
け

教科書を考える呉の会～未来への架け橋～  
 定例学習会です！  
 第5回「原発」  
 日時：2012年5月20日（日）15:00～17:00  
 場所：西教寺（駐車場もあります）  
 喫緊の課題、原発です



教科書を考える呉の会～未来への架け橋～  
 定例学習会です！  
 第6回「古事記・日本書紀」  
 日時：2012年6月10日（日）15:00～17:00  
 場所：西教寺（駐車場もあります）  
 社会科で記紀？



教科書を考える呉の会～未来への架け橋～では会員を大募集中です  
 お知り合いに入会をお勧め下さい。年会費500円。  
 お問い合わせはニュースタイトル下の携帯電話まで。